

# すいた市議会報告

GOGO NEWS No. 6



吹田市議会 すいた市民自治 いけぶち 佐知子

〒564-8550 大阪府吹田市泉町1丁目3番40号

TEL:06-6384-1231(代表)FAX:06-6387-4861

E-mail:gogo@net.email.ne.jp http://www.suita.net/

未来にまっすぐ市政にまっすぐ

35000部発行

## 縄文の森 平成の森をつくろう

アジェンダ21すいた(\*)設立総会において、市長は「万博公園の森は縄文の森である。縄文の森の熊野古道のまちと友好関係を結びたい。森が腐葉土を産み、市民文化の基盤となるだろう」という趣旨のあいさつをしました。吹田操車場跡地(東部拠点)のまちづくりについては、市民の方からも「ハコモノは建設費用はもちろん、完成後も維持費に多額を要するので、今は土地だけを安く入手し、とりあえず森にし、最終的な使い方を子孫に引き継ぐのが賢明」との意見が届いています。



世界遺産の熊野古道もよいけれど、東部拠点に平成の森をつくってはどうかと質問しました。

### 市が東部拠点で考えている

#### 「緑と水につつまれた健康・教育創生拠点」の緑とは?

遊歩道・・・

新たな貨物駅との緩衝緑地帯として幅14メートル全長約3キロメートルの緑豊かな遊歩道を、吹田市域と摂津市域にまたがり整備する

ボリュームのある緑・・・

遊歩道をはじめ、まとまりのある緑を計画的に配置することにより、環境や景観に配慮した緑豊かなまちづくりを目指す

基盤整備事業・・・

公園整備や道路緑化などによる緑の確保に努めるとともに、土地利用時、敷地内緑化などによる緑の確保に取り組む



### もくじ

縄文の森 平成の森	1
子育て広場支援事業	2
育児支援家庭訪問事業	2
コミュニティバス	3
商業活性化 まちづくり	4
中学校給食	4
会計報告4月～5月 活動日誌4月～5月	4

### 5月議会質問項目

- † 子育て支援
- † コミュニティバス
- † 情報公開と個人情報保護
- † 協働によるまちづくり
- † 平成の森
- † 中学校給食

(詳細お問い合わせください)



●Eメール通信(火、土発信)、FAX通信(月1回程度)をご希望の方は、メールまたはFAXでお知らせください。

〒565-0851吹田市千里山西5-2-5アクネビル2F

いけぶち佐知子事務所

TEL06-4861-7418 FAX06-6387-4861

E-mail: gogo@net.email.ne.jp

## 子育て広場支援事業

特殊出生率が1.25となり、いよいよ子どもの数が減ってきました。結婚する男女が減ってきていることありますが、たとえ結婚していても、経済的、生活の負担増から子どもを持ちたくても持てないカップルが増えてきています。子どもを産み育てることに希望の持てる社会になれば、と思います。

そのためにも、まず子育ての負担感を軽くすること、地域で子育て中の親子をサポートできる仕組みが求められています。その仕組みの一つが右表にある「子育て広場」です。

子育て広場支援事業は昨年度から始まった補助事業で、乳幼児と親が気軽に集い交流を図る子育て広場を運営する団体に補助金を交付し、地域での子育て支援機能の充実を図るものです。



参加費及び参加者の実費負担
広場の利用料は無料。親子行事など材料費実費負担の場合もあり。
実施場所の広さ
運営団体が場所を確保する困難性も勘案し最低40㎡以上としているが、利用状況からみて必ずしも充分な広さではないと考えている。施設借上費補助(月15万円まで)も設けている。
昨年度の実施状況
一日平均のこども利用者数は11~14人。広場での相談や親子行事なども開催。気軽に集い交流する場としての一定の成果はある。
運営団体からの意見
定期的な広場の開設や、親子行事・講習会の開催、広報誌の発行などの事業を実施するにあたってのスタッフの確保などが困難とのこと。

## 育児支援家庭訪問事業

子育てについての悩みや不安を抱える家庭などにボランティアの育児支援家庭訪問員が訪問する事業です。3月議会提案時、大阪府子ども家庭サポーター養成講座修了者の意欲とスキルを生かす場として、とても期待していました。しかし、市報に募集記事があるにもかかわらず、事業要項など未整備の部分が多々あり、事業実施までもっと詰めておくべきだと意見を述べました。

質疑でわかったのは右の通りです。⇒⇒⇒

- <訪問員> 子育て経験者、保育士や保健師などの免許取得者及び府子ども家庭サポーター養成講座修了者。
- <研修> 市が実施する本市の子育て支援施策、児童虐待、DVについてなどの研修を受講。
- <活動> 支援を必要とする家庭に、子育てに関する相談や、育児援助などの支援を行うために、訪問。
- <訪問対象> 育児ストレス、産後うつ病、育児ノイローゼ等により子育てに対する不安、孤立感を抱える家庭等、家庭養育上の問題を抱える家庭。
- <事業の流れ> 児童に関わる機関から家庭訪問員派遣依頼 情報収集・状況把握 支援内容・期間などについて関係機関と十分に協議 家庭訪問員の派遣実施。

いずれの事業も、子育てを支援しようとする市民や団体の自主的な活動が頼りです。市民は学習してきたことの自己実現の場として、子育て広場や育児支援家庭訪問にかかわろうと思ひ、市は行政だけでは担いきれないので市民にゆだねたいと思ひ、本来なら双方ともにwin&win(ともに良い)の関係になるはずですが、しかし現状は、市民や市民団体、NPOの子育て支援への志の高さとボランティア精神の強さでなんとか回っている状態です。それに加えて、市が市民や団体に「支援している」とか、「活動場所を提供している」とかという、どこかで「してやっているのだ」という気持ちや姿勢が、もし少しでも垣間見えてくると、市民の意欲も思いもすぐにはぼんでしまいます。

市民との協働を進めていく市民協働ふれあい室もかわる中で、市民や市民団体も成長していける、そういう事業になってほしいと思ひますし、していきたいと思ひます。



## コミュニティバス

千里丘地域でコミュニティバスの試験運行が始まります。  
本格運行に向け考えておくべきことについて質問した結果は以下の通りです。

### 導入目的 コンセプト

1. 公共交通不便地域の解消
2. 移動に制約のある方（高齢者や障害者など）の移動手段の確保
3. 主要な施設（銀行や郵便局、公共施設等）へのアクセス
4. 地域環境の改善
5. 丘陵地の交通バリアフリー対策



### バス料金

既存の路線バスの運賃や2004年度実施のアンケート結果、「吹田市コミュニティバス導入検討委員会（以下検討委員会）」での検討等を総合的に勘案し、今後、決定

### 本格運行の 決定要素

試験運行の需要予測に対する利用者数を最重視する  
試行運行期間中利用者や全市域的な住民アンケート調査、「検討委員会」での審議を踏まえて

### <参考 福祉巡回バス>

交通弱者（高齢者や障害者）公共施設や医療機関または主要駅までを無料で利用することにより、積極的な社会参加や自立を促す目的で運行。2005年度からは対象者を拡大（妊産婦及び同伴の乳幼児の検診等への利便）。より一層利用しやすくするため、コミュニティバスとの関連も含め研究していきたい。

## 商業活性化はまちづくりから

出来上がっている商業地にアメニティ豊かな空間形成を盛り込もうとすれば時間も費用もかかりますが、駅周辺を再整備しようとするときに考えれば、案外簡単では？  
以下、質問と提案をしました。

- 地域コミュニティ活性化＝商店街の活性化  
そのためには「地域と商店街等との交流」が必要。
- 商業のことは商業者に任せておけばいい＝ダメ  
地域住民やその駅を利用する人が集まるまちづくり懇談会は駅周辺の商業活性化、コミュニティ活性化を考える場として最適の場である。
- 担当所管もまちづくり懇談会に参加し、商業者あるいはまちの人たちの生の声を聞き、効果的な商業振興が図れるような取組みあるいはサポートするべきである。

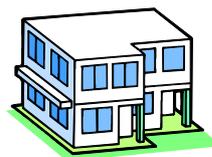
### <回答>

千里山駅周辺整備事業については、関係各課を構成員とする「千里山駅周辺整備事業に係る庁内連絡会議」に産業労働室も構成員として参加し、連絡・調整を行っている。

駅周辺まちづくり懇談会の開かれている各地域とも、まちづくりについての事業計画がより具体化していくなかで、商店街等をはじめ地元商業者に対し、地域の商業振興を図る立場から各種の支援を行い、サポートをしていきたい。

前号でお伝えした公務員宿舍入居職員への住宅手当について市民の方から以下のご意見をいただきました。みなさまもこの話題に限らず市政・議会に関するご意見ご提案をお寄せください。

公務員宿舍入居職員にまで住宅手当が出ているのは二重取りではありませんか。  
国家公務員は勿論、公務員宿舍入居者には住宅手当は支給されません。  
宿舍貸与の条件はその職務を果たすために必要な職員というのが基本です。医師や看護婦は需要供給の原則だけで確保できない場合があります。それらを合わせて判断する必要もありますが、二重取りは誰が考えてもおかしいと思います。  
宿舍家賃については、地域性を加味することが必要ですから一概には言えないのですが、身内意識が先に立って二重取りや超低額家賃に十分な意識が働かない結果になっているのではないのでしょうか。ぜひ、早急に見直すべきだと思います。



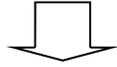
# ほんとに中学校給食(?)は必要?

## 昨年の学校給食検討会議の提言

中学校給食実施の方向として食堂方式、デリバリー方式、購買で自由にパン・おにぎりなどを購入する選択制がよりよい。

## 文部科学省の見解

学校給食は食育の場であり、栄養教諭が給食を教材に指導し、すべての児童・生徒が同じものを食べることが大切である。



検討会議の提言では中学校給食と言えない!

## 学校教育部の見解

1. 提言の中のいずれの方式も、学校給食法に規定する、学校給食には当てはまらない。  
法律に基づかなければ、設備新設などに対して国の補助金はでない!
2. 献立の作成・食材の選定は小学校と同様、栄養士の指導で行い、運営や経営全てを教育委員会の管理下で行う。  
調理は民間委託でも大丈夫?
3. 食について考え、食を通して健康、環境問題等に対応できる力を養う機会となる。  
素材購入⇒調理⇒配膳⇒食事 それぞれの段階が子どもたちに見えることが食育に通じるのでは?
4. 家庭からの弁当や学校の食事を利用する子どもが、互いの立場や考えを尊重し、思いやりの心をはぐくむなど教育の一環として食育につなげていきたい。

家庭からの弁当は材料から調理まですべて保護者負担なのに、学校での食事(学校給食?)は一部保護者負担としても残りは学校教育費から支出するとなると、不公平ではないのでしょうか? すべてにおいて中途半端な中学校給食(?)だと思います。

# 活動日誌 4月~5月(抜粋)

## 4月

- 5日 個人情報保護審議会(特別会議室)
- 6日 アクションネット北摂勉強会(千里中央)
- 8日 介護保険学習会(勤労者会館)
- 14日 郷土史研究会研修会(近江八幡)
- 15日 歌声喫茶見学(内本町コミセン)
- 17日 臨時議会 提案説明
- 19日 都市環境整備対策特別委員会
- 20日 個人情報保護審議会(メイシアター) 千里山駅周辺まちづくり世話人会
- 21日 コミュニティバスWS(千里丘市民センター)
- 22日 高齢者施設研究会
- 24日 臨時議会・常任委員会
- 25日 地方財政講座(本町)
- 26日 臨時議会 討論採決
- 27日 旧西尾家住宅見学会 千里山駅周辺まちづくり懇談会(メイシアター)

## 5月

- 2日 津雲配水場ツツジ見学
- 8日 個人情報保護審議会(特別会議室)
- 10日 アクションネット北摂勉強会(千里中央)
- 11日 南千里駅周辺まちづくり懇談会(南千里)
- 12日~30日 5月議会
- 13日 産業フェア(市役所・メイシアター) 貴志康一を偲ぶコンサート(浜屋敷)
- 15日 千里山駅周辺まちづくり世話人会
- 21日 ボランティアフェスティバル(市役所) アジェンダ21すいた設立総会(市民会館)
- 25日 吹田薬剤師会総会(総合福祉会館)
- 27日 健康日本21シンポジウム(堺市)
- 29日 千里山駅周辺まちづくり懇談会(メイシアター)
- 31日 コミュニティバス試乗会(千里丘)



## 議員会計報告 2006年4月~5月

収入		支出	
議員報酬	1,300,000	生活費	500,000
期末手当	0	税金	203,312
審議会等委員報酬	25,200	共済・互助会	174,800
年末調整	0	事務所家賃	100,000
預金引出	0	事務所光熱水費	4,893
預金利息	16	事務雑費	40,225
前期繰越	720,033	人件費	84,000
議員報酬は月65万円×2ヵ月 審議会等報酬は 個人情報保護審議会 8400円×3		通信費	42,226
		交通費	33,250
		活動費	18,420
		応援団へ	130,000
		国民健康保険	162,830
収入計	2,045,249	支出計	1,493,956
		次期繰越金	551,293

## 2005年度政務調査費会計報告\*

収入	11万円/月×12ヵ月	1,320,000
支出	広報費(議会報告印刷など)	906,295
	事務費(インク・事務用品など)	124,351
	資料購入費(書籍購入)	103,292
	研究研修費(研修参加費)	34,660
	吹田市へ返金	151,402
残高		0

## いけぶち佐知子事務所地図

毎週月・木曜日  
第2・4金曜日  
いずれも10時から16時まで  
OPEN  
市政相談も  
受け付けています



\*政務調査費の支払伝票や領収書など関係書類は情報公開対象です。ご覧になりたい方は、市役所1階情報公開コーナーへお申し出ください。